

大佐飛山地生物群集保護林

管轄森林管理局・署	関東森林管理局 塩那森林管理署
所在地	栃木県那須塩原市
面積	8,152.35ha
設定年	平成18年(設定)、平成30年(名称変更)
保護林の概要 (設定目的)	高山性のハイマツが標高1,700m付近から出現することや、ミヤマナラの分布の南東限となっていること、亜高山性植生の著しい下降現象がみられることなど、冬季の季節風による雪庇の発達をもたらす特異な植生の分布に特徴が見られるため、これらの森林を保護・管理することにより、森林生態系からなる自然環境の維持、野生生物の保護、遺伝資源の保護、森林施業・管理技術の発展、学術の研究等に資するため設定した。



保護林内の状況



アスナロ群落

モニタリング調査概要

実施年度	平成18年、平成31年、令和6年
調査項目	資料調査、森林概況調査、森林詳細調査(樹木の生育状況調査、下層植生の生育状況調査等)、動物調査(哺乳類及び鳥類)、聞き取り調査
調査手法	森林詳細調査として、ブナ群落、アスナロ群落、ダケカンバ群落において調査プロットを合計3箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。動物調査として、調査プロットまでの経路に2つの調査ルートを設定し、保護林内における出現種を把握した。
結果概要	全体として安定して維持されていると考えられるものの、ニホンジカによる剥皮がやや確認され、下層植生が減少傾向にあることから、ニホンジカの採食圧による影響が懸念される。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。